

時代色

——歪んだポーズ

岡本かの子

青空文庫

センチメンタルな氣風はセンチと呼んで唾棄輕蔑だきけいべつされるようになったが、世上せいじょう一般にロマンチックな氣持ちには随分ずいぶん憧れを持ち、この傾向は追々おいおい強くなりそうである。

飛躍する氣持になり度たい。何物かに酔ようて恍惚こうこつとした情熱にわれを忘れたい。大体だいたいこういう氣風である。だが、世上一般の実状はその反対を強しいている。それだけ人々は却かえつてそれを欲ほつするのかも知れない。

世上一般の実状が人々に強いるものはリアリズムである。如何いかに苦みにくしく醜みにくい現実でも青眼せいがんに直視せよと言うのである。然しからざれば生活の足を踏すべみ滑らす。

リアリズムの用心深い足取りで生活の架け橋を拾い踏み渡りながら、眼は高い蒼空そうくうの雲に見惚れようとす。歪んだポーズゆがである。此矛盾このむじゆんが不思議な調子で時代を彩色いろどる。

純情な恋の小唄こうたを好んで口誦くちずさむ青年子女に訊きいてみると恋愛なんか可笑おかしくって出来できないと言う。家庭に退屈した若い良人おととが、ダンス場やカフェ這入はいりを定期的にして、而もしかそれに満足もしない。肯定と否定とが一人の人の中に同棲どうせいしている。そして、そのような矛盾のままに性格が固定し切っているかと思えば、そうでない。気分の動きにつれて肯定と否定の両頭りようとうは直ぐ噛み合すいを始める。今日の都会の青年子女に就つて、気持ちの話になつて、はつきり一つの意味の言葉を言切いいきる者は尠すくない。必ず意味に濁にごりを

打つか取消しの準備を言内に付け加えている。これは相手に向つての用心ばかりでなく、恐らく自分自身に向つても保証し切れないからであろう。

しかし、この矛盾に堪^たえぬものは現代の落伍^{らくご}者^{しや}である。逞^{たくま}しい忍耐^{もつ}を以て、この歪^{ゆが}んだポーズに堪え、根気よく真に魅力ある理想を探^たつて行き度^たい。

青空文庫情報

底本：「愛よ、愛」パサージュ叢書、メタローグ

1999（平成11）年5月8日第1刷発行

底本の親本：「岡本かの子全集 第十二卷」冬樹社

1976（昭和51）年9月20日初版第1刷発行

入力：門田裕志

校正：土屋隆

2004年3月30日作成

2013年10月5日修正

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.waozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

時代色

――歪んだポーズ

2020年 7月13日 初版

奥 付

発行 青空文庫

著者 岡本かの子

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>